

第4回 (仮称)練馬区地域コミュニティ活性化プログラム検討懇談会 議事概要

《日時・場所》

- 1 平成23年8月11日 午後6時～午後8時
- 2 場所 練馬区役所本庁舎5階 庁議室

《次第》

- 1 開会
- 2 第3回懇談会の議事概要
- 3 議題
(1) 町会・自治会等について
- 4 その他

《出席者》

大垣喜久江委員、岡田尚子委員、小川善昭委員、小美濃千鶴子委員、加藤政春委員、鈴木恭一郎委員、玉井弘子委員、玉野和志委員、戸田了達委員、浜屋光正委員、原秀年委員、平田稔委員、増田時枝委員、森本陽子委員、渡邊裕委員

(区出席者) 区民生活事業本部長、産業地域振興部長

(事務局) 地域振興課職員 5名

(傍聴者) なし

1 開会

座長

- ・第4回地域コミュニティ活性化プログラム検討懇談会を開催する。

2 第3回懇談会の議事概要

座長

- ・第3回懇談会での議事概要について、事務局から確認をお願いする。

事務局

- ・第3回懇談会議事概要について、各委員には事前に送付させていただいた。現時点で修正などのご意見はいただけていないが、加筆・修正等があればお出しいただきたい。
- ・何もなければ、今後、区のホームページで公開していく。

座長

- ・特に意見等がないので、第3回の議事概要については、区のホームページでも公開していく。

3 議題

(1) 町会・自治会等について

座長

- ・事務局より、第3回懇談会議事概要について、本日の議論につながる意見を整理した部分の報告をお願いする。
- ・前回までの議論を思い出しながら、今回の検討事項である「町会・自治会等」の議論につなげていきたい。

事務局

- 第3回議事概要により、論点の説明

座長

- ・本日は町会や自治会等について議論する。まずは事務局より区内の町会や自治会に関する概要について報告をお願いする。

事務局

- 資料1により、区における町会・自治会等の概要の説明
- 資料2により、町会・自治会の主な活動内容の説明
- 資料3により、町会・自治会および町会連合会支部のエリアについて説明
- 参考4（第2回懇談会参考資料）により、町会・自治会等に関する区民意識調査結果の概要について説明

座長

- ・区から町会・自治会等の現状について説明してもらった。本日は、これまで町会や自治会が果たしてきた役割や効果、現在課題となっていることなどについて意見交換を

していきたい。

- ・まずは本日の議題について、R委員がご意見を資料として提出されているので事務局より紹介をお願いします。

事務局

- R委員の資料の紹介

座長

- ・R委員の資料を参考に関連するご意見や、資料を見て気がついたことなどがあれば伺いたい。
- ・まずは、町会・自治会をあまり知らない委員、あるいは、あまり関わってない委員から、町会・自治会に期待することや望むことなどのご意見をいただき、その後、町会・自治会に関係する委員から、実情も含めてご意見をいただきたい。

P委員

- ・現在、マンションの管理組合は作っているが、町会・自治会には加入していない。
- ・町会の活動内容については話では聞いているが、町会に加入していないので、それ以上ことは知らない。加入しない理由については、町会の具体的な活動を知らないため、町会の良い点が分らない。時々、町会に加入している人の話を聞く機会があるが、あまり良くない話ばかり聞こえてきて、良い話が聞こえてこない。
- ・参考資料を見ると、若い方や居住年数が短い方の加入率が低い。長く住んでいれば、町会・自治会の良い点が分かってきて、加入していると思う。
- ・また、約15%の人はマンションの管理組合に加入しているが、町会・自治会には加入していないという状況がある。管理組合が町会・自治会と同じように、防犯・防火・防災や交通安全などの活動をするのは難しいと思うが、それ以外に町会・自治会として期待される活動、例えば、区として町会・自治会を通じて住民の方に情報を伝えていくなど、そのようなことであれば、管理組合でも協力できると思う。マンションの管理組合の活動を上手く活用することができれば、少しは状況も変わってくると思う。
- ・町会・自治会に加入するメリットを、是非、関係者の委員の方々からご紹介いただきたい。

座長

- ・他の委員で町会・自治会にあまり関わってない方から意見をいただきたい。

M委員

- ・町会・自治会は、敷居が高いと思う。役員の方が自分より年上の方なのでいつまでも後輩として捉えられる。新しい人が加入しにくい。
- ・私もマンションの管理組合に入っており、そのマンションが数年前に集中豪雨で床上浸水した。その時、区に要望を出したが、町会・自治会を通して要望を出して欲しいと言われた。その後、管理組合として町会に加入している。
- ・先ほどのご意見にもあったが、町会・自治会の良いところの話は聞こえてこない。一

部の方が既得権を握っているのが現状だと思う。

座長

- ・ここまで町会・自治会を、外から見ている方からご意見をいただいた。ここからは町会・自治会活動に関わっている方のご意見を伺いたい。
- ・まずは、学校関係の活動をされている方で何かご意見あればお願いしたい。

I 委員

- ・私の町会も自分の親より上の方が役員をされており、毎年ほとんどメンバーは変わっていない。私も加入はしているが、ほとんど活動には関わっていない。私の町会の辺りには商店街が無く、活発な活動になる要素が少ないため、昔から同じ人が役員をやっているところがある。
- ・町会・自治会に加入することのメリット・デメリットは、なかなか訴えにくいのではないか。町会・自治会は、例えるなら空気のような存在だと思う。こうしたご時勢の中、なるべく皆がつながること自体が大事だと思う。
- ・PTAや学校から見ると、町会に加入している方や役員の方など、個人では様々な場面で協力をいただいているが、町会という組織と連携するとなると、難しい面がある。

H 委員

- ・私も町会に入っているが、会の活動にはほとんど出たことがない。確かに町会・自治会の敷居は高いかもしれないが、その反面、その方々がずっと地域を守ってくれてきたことも事実である。
- ・町会・自治会に入るメリットも無いが、デメリットも無いため、加入しておいたほうが良いと思う。
- ・私の入っている町会は、芋掘りや流しそうめんなど、様々なイベントを行っており、非常に活動も盛んである。ところが、同じ町会のエリアに住んでいるPTAの役員の方が、この町会は何も活動してないと言っていた。その方はマンションに居住しており、マンションの管理組合が町会に入っていないため、イベントなどの情報が何も伝わって無かった。本人はマンションの管理組合が町会に加入していないこと、町会に加入していないため、イベントなどの情報が伝わって来なかったことが分かって驚いていた。難しい問題であるが、私も驚いた出来事だった。

座長

- ・ここまでの各委員からのご意見を伺っていると、練馬区では町会・自治会が、どちらかと言えば、まだまだ権威がある団体であるように感じた。多くの自治体では、役員に同じ人がずっと居座ることができず、PTA会長が終わると、次は町会・自治会に関わっていくような地域が多くなっていると思う。練馬区では、まだ町会・自治会に厚みがあり、力や権威も残っているということだと思う。その辺りの状況について、B委員から解説をしていただきたい。

B 委員

- ・町会連合会の役員に4年前ぐらいに就任したが、70歳の私が一番若い状況である。町会によって、活動内容や役員の年齢層などに差がある。若い役員がいると学校や地域の商店街とも連携が取りやすい。役員が年配の方ばかりだと、なかなか上手くいかないこともある。
- ・私の町会では「意見はいくらでも言ってくれ、その代わり決まったことはやってくれ」という話をしている。若い方にも入ってもらい、それぞれが活動しやすい環境をつくるのが町会長の仕事だと思う。
- ・町会の役員になると、様々なイベントの手伝いなどで大変である。町会活動をする際には特定の人に負担が偏らないよう、みんなで行動しようという話をしている。
- ・ある町会・自治会の支部会に参加した。その支部には24町会が入っており、区からの情報を伝達していたところ、そのような話より、自分たちの困っていることなどの話を聞いて欲しいということだった。その24町会の中には、27所帯のところや500所帯のところなどがある。活動内容や役員の年齢構成も町会ごとに差がある。その差をどうするかは難しい問題であるが、地域ごとに皆さんが顔を合わせて、色々と議論する、その際には、先輩、後輩に関係なく意見を言える雰囲気を作っていくことが大切だと考えている。

座長

- ・以前から懇談会で出ている意見ではあるが、練馬区は地域ごとに実情が違うため、こうしたことを踏まえ、活性化を考えることが重要であるということだと思う。
- ・他の委員で、町会・自治会に関わりがある活動をしている方の意見をいただきたい。
- ・F委員はいかがか。

F委員

- ・私の加入している町会は、会長の任期を規約で定めていないため、同じ方が非常に長く務めている。やはり、任期はある程度決め、任期中に自分のやりたいことをしてもらう方が良いと思う。

座長

- ・続いてG委員はいかがか。

G委員

- ・若い方、特に女性の方が参加しにくいのは、お祭りや防災訓練などで、大変なことを若い方などに押し付ける傾向があるからだと思う。若い方は、働くことは良いと言っているが、上からの目線で頼まれるのに抵抗があるようである。お願いする形をとれば良いと思う。
- ・昔は町会や青少年の育成に関わる方が、地域の子どもたちを相手にキャンプや野球大会をするなどして、子ども親からも町会の方々が慕われていた。現在は、青少年の育成に関する活動がしっかりとした活動になったのか、それとも、町会・自治会の方々が高齢化したからなのか、様々な要因があると思うが、それぞれの団体が連携して一

つのイベントを行うことが無くなっているように思う。そういう意味では、老人クラブは人数が少ないだけに、一つにまとまって活動できると思う。

座長

- ・ E委員はいかがか。

E委員

- ・ 私の世代では町会に入るものだという感覚である。ただ、何年かに一度回ってくる班長をするぐらいでしか関わりがない。
- ・ 現在は、地区区民館の運営に関わっているので、町会長さんとも付き合うようになった。地区区民館では、子ども、子育て世代、お年寄りの方など、様々な世代を対象に行事を行っているが、色々な行事で人集めを含め、町会・自治会には協力をいただいている。

座長

- ・ C委員はいかがか。

C委員

- ・ 委員の方々の意見を聞いて感じたことだが、住んでいる人から見ると、町会・自治会もマンションの管理組合も同じなのではないかと思う。特に分けて意識する必要はないと思う。
- ・ 私は町会長を長く続けているが、個人的には積極的に町会長を引き受けて、地域の皆さんといっしょに地域を盛り立てようという気持ちを、それほど強く持っているわけではない。ただ、若い方から見れば、あの人はずっと会長をしているという感覚だと思う。
- ・ また、商売をしている関係上、地域の小さな子どもから大人まで声を掛けやすいこと、地域の方がお客様なので顔見知りが多いことはあると思う。
- ・ 町会の立場としては、それほど苦も無く、町会の役員も務めている。色々な見方はあると思うが、町会・自治会に入って良かったという人はあまりいない。どの方向から見るかによって、町会・自治会の見方も変わってくると思う。

座長

- ・ 練馬区における町会・自治会の状況について、大体分かってきたように思う。長く住んでいる方とそうでない方、長く役員をしている方と新しく加入した方など、色々なことで行き違いがあると思う。
- ・ 今後どのようにしていくことが、お互いにとって一番良いのかご意見いただきたい。
- ・ R委員の資料の最初にあるが、町会・自治会と他の団体は、やはり役割が違うのではないかということがある。町会・自治会の現状を踏まえ、このように付き合う方が良いとか、あるいは、このように活用するのが良いとか、町会・自治会として認めて欲しいこと、お互いの関係について工夫できることなどについて、ご意見をいただきたい。

○委員

- ・町会は加入率が約 42%であり、これだけ大きい区民の団体は他にない。防犯、防災、防火の活動をしていること自体素晴らしいことだと思う。
- ・練馬区は転入者の方が多く、素晴らしい人材がたくさんいると思うが、その方々がなかなか町会に入りたがらない。町会・自治会に限らず、長年何らかの団体などで役職を務めていると、外からの意見などは受け入れにくく、内向きになる傾向があると思う。こうしたことも若い方が入りにくい状況につながっている。
- ・練馬区は人口 70 万人、山陰地方の県レベルと同じ人口規模である。町会だけで地方の町と同じくらいの規模になっているところもあると思う。練馬区を地方の県と同じ規模だと考えると、町会だけで地域の運営を担うことは難しいことが分かると思う。
- ・個人的には地域で認知症予防推進委員の活動をしており、町会と連携しようと試みるが、認知症予防は町会で取り組むことではないといった反応が返ってくる。連携したいが、町会の役員の方の考え方が固定化しているため難しい。高齢化社会が進み、在宅支援が中心になりつつある中で、行政だけで対応ができず地域での支えあいが必要になってきている。こうした問題を一つ取っても、なかなか考え方が変わってこない状態だと思う。同じ話を老人会に持っていくと対応してくれた。
- ・町会を変えていくことは難しいと思うので、町会ではできないことを民間ボランティア活動などで補えば良いと思う。

座長

- ・町会が変わってくれないと困る状態なのか、地域で様々な活動があるので町会を特に当てにしなくても良いという状態なのか、お伺いしたい。

E委員

- ・マンションでは管理組合が活動しており、活動を通じて知り合いもできている。団地にも同じようにコミュニティがあると思う。必ずしも全員が町会に入らなければならないということではないと思う。それぞれの活動が核になって、地域コミュニティの活性化につなげていければ良いと思う。
- ・地域ごとに町会の雰囲気も違うと思うので一概には言えないが、町会長を引き受けている方は、ボランティアの中で一番の苦労ではないかと思っている。先ほどご意見にあった、地域での認知症対策のようなことまで、町会長に求めるのは酷ではないかとも思う。
- ・地区区民館が行政側の核になって、町会と連携しながら進めていくのが良いと思う。今後、地区区民館でボランティアを募集するという動きも検討されている。

○委員

- ・区には高齢社会対策課があり、認知症対策に取り組んでいる。現在、東京都のモデル事業として練馬区と多摩市が認知症予防のための講座などを開き、区内でも認知症予防推進員として 774 名の方が講座を修了している。修了した方が区内で認知症予防の

ための啓蒙活動をしている。こうした啓蒙活動をする場を設けて欲しいという話を町会に持ちかけても、町会が関与する話ではないといった反応がある。

座長

- ・地域で色々な活動がそれぞれあれば良いのか、それとも、その活動をする際に町会に場の提供や、協力を求める必要があるのかという話だと思う。
- ・極端な話ではあるが、町会も一つの団体として捉え、町会も含めそれぞれが自由に活動し、地域が活性化すれば良いという考え方もあると思う。こうした考え方で整理できるなら、町会・自治会のこともそれほど話題にはならないが、町会・自治会について様々なご意見が出ている。
- ・先ほどのご意見で、行政に対して地域で何か要望をしようとする際に、町会・自治会を通してほしいという話があった。行政が地域の窓口として町会・自治会を相手に行っているのであれば、町会・自治会を無視できないという話になると思う。その割には町会・自治会の敷居が高いという課題が挙げられた。
- ・これからのことを考える時、練馬区は、個々の活動は区内でもかなり活発に行われていることが分かってきた。こうした個々の活動だけで良いのか、こうした活動とともに町会・自治会が関わることで、更に良くなるということなのか。町会・自治会に果たして欲しい役割があるのか。それとも、他の団体と横並びで考えれば良いのか。わざわざ敷居の高い町会・自治会に入らずに、別の団体をつくれれば良いのか。町会・自治会が果たす役割が今後も必要で、そのために改善して欲しいことがあるのか。その辺りの考え方を整理できると良いと思う。

G委員

- ・やはり町会・自治会は必要だと思う。町会・自治会が中心になって取り組んでいただきたい。認知症の見守りの話は、他の地域の町会・自治会でも取り組んでいる。O委員がアプローチしたところが、たまたま反応が悪かったのだと思う。町会・自治会に話を持っていく際、一番良いのは町会連合会などの組織を通して話もっていくことだと思う。
- ・これからは、町会・自治会が中心になって防災や見守りなどを担っていくべきだと思う。そうしたことがあるから行政も町会・自治会を大事にしているのだと思う。町会・自治会には頑張ってもらいたいと思う。

B委員

- ・様々な話が町会に来るが、町会で全てを対応することになる懸念もある。話を持って来るだけで、実際に動くのは町会に任せるといった話では対応が難しい。お互いに取り組みましょうという仕事はたくさん受けている。町会に「おんぶにだっこ」では駄目ですよという話はしている。
- ・町会にも差がある。現在は町会連合会で受けた話を支部会に流す形をとっている。今までは、町会連合会に加入していない町会・自治会へは、正確に情報が届きにくい場合

もあったため、地域の中でのバラツキがあった。これを改善するため、支部会を立ち上げ、町会連合会に加入してない町会も参加できるようにした。支部会の活動も徐々に充実してくると思うので、支部会を通して様々な対応を徹底していけると思う。また、町会ごとの差も少なくなってくると考えている。

- ・先ほども申し上げたが「意見はいくらでも言ってくれ、その代わり決まったことはやってくれ」ということをいつも話している。その上で、連携して取り組まないといけないことがたくさんある。
- ・地区祭の運営にあたっては、地域の団体が全部関わってくる。一年一回だけでは勿体ない。二か月に一回でも同じように集まり、地域のことを考えることができれば、地域も活性化していくのではないかと思う。
- ・また、地区祭では、私の町会がリーダーシップを取って実施している。地区祭には50団体が参加しているので、その団体の中から10数名を選んで、地区祭を運営するようにしてほしいと要望しているが、なかなか進まない。この話が進めば、同じ方がいつまでも担うことも無くなり、色々な方が地域を担うことになって、活性化していくのではないかと考えている。

P委員

- ・私の所属しているグループである講習会を開く際、町会に案内状の配布をお願いしたことがある。町会長さんに直接お願いをし、快く引き受けてもらった。その後、講習会を受けた人から伝わって、隣の町会も含め3町会を対象に広がった。隣のマンションに全戸配布したが、ほとんど参加者は無く、町会から来ている人の方が多かった。町会の力を借りることができるのであれば、良いことだと思う。
- ・町会長さんに話を聞くと、忙しすぎるということである。例えば、交通安全などは、町会の仕事で無くても良いのではないか。何でも町会ということ自体に無理があると思う。他の団体と共催で取り組む形もあると思う。
- ・マンションの管理組合は、法律上作ることが義務付けられている。結果として、自治会のような活動を建物内でしている状態であるが、外には出ていけないので地域の情報も入手できないということがある。町会連合会や支部にも入れないため、地域の情報は入手しにくい。
- ・まずは、みんなが情報を知ることができ、共有できる仕組みを作ることが大切である。例えば、ホームページ上を見れば、すべて情報を知ることができたり、地区区民館に行けば地域情報がすべて分かたりするなど、様々な団体が何かを一緒にできる素地として、情報を共有できる仕組みを作ることから始めていくことが重要であると思う。

H委員

- ・今のご意見を伺っていて、町会がそのようなものになりうると思う。向こう3軒両隣の関係が無くなる中で、町会は、少し広い範囲の地域のつながりとして、最低限の砦だと思っている。仮に活動には参加しなくとも、町会の班の名簿を一年に一回ぐらい

見て、近所の人と同じ班だということを知っているだけでも違うと思う。

- ・自分が町会に入っていれば、何か活動をしたい時、町会に相談もし易い。町会に入っていない人が何か話を持ちかけるよりは、町会に入っている人からの相談ということで対応してくれると思う。
- ・先ほど町会に入るデメリットは無いという話をしたが、役職を頼まれる方は、多くのことを頼まれてしまうので、デメリットになるかもしれない。ただ、やりたくなければ話を受けなければ良い。年にいくらか払う会費がデメリットになるくらいかもしれないが、その会費くらいは払って、地域の最低限の砦を町全体で守っていければ良いと思う。

K委員

- ・町会は必要だと思っているが、町会自体の機能が小さくなり、失われてきていると思う。商店街も全体的に個人が中心の時代になり、小さくなっている。こうした流れに歯止めをかける意味でも、例えば、小さな町会が合併してある程度大きな町会になることで大きな機能、役割を果たすこともできるのではないか。そうした施策が何か考えられると良いと思う。

O委員

- ・地域のニーズが多様化する中、町会だけではそのニーズを把握しにくい状態であると思う。市民活動団体はニーズを掴んでいるところもあると思う。こうした市民活動団体が一番困ることは、活動する際に地域に周知する手段がないことだと思う。市民活動に対して、町会が協力して掲示板や回覧板で告知することはできると思う。こうした取組が、地域のニーズに対応することになると思う。町会は地域の活動団体を利用するくらいの姿勢が良いと思う。
- ・地域を活性化するためには、町会ができない活動をしている団体を取り込んでいくということが必要ではないか。町会ができないこと、市民活動で取り組んでいること、ジョイントすることで市民活動の幅も広がり活動自体が伸びてくると思う。

座長

- ・何人かのご意見をいただいたが、二つに整理できると思う。
- ・一点目は、町会・自治会は組織を持っており、活動が定着している強みがあるが、個々の区民のニーズを吸い上げることや柔軟に対応することは難しい。個々の活動や他の団体を認め、連携していくことが大事であること。その時に、町会・自治会だけに任せるのではなく、話を持ってきた方々が主体となって活動し、協力して取り組んで行くことで、町会の担い手も増えるし、他の活動団体からすれば、何かをする際に町会の後ろ盾もできることになる。これが、お互いの活性化につながるのではないかと考えている。
- ・二点目は、町会・自治会を地域の基本的なつながりを維持していく重要な要素だということである。そういう意味で、町会・自治会に負担をかけて活動して欲しいとか、

あるいは、中心になって権力を持って活動していくとか言うことではなく、地域の人
が緩やかにつながるベースとして、みんなが尊重して認めた方が良いということであ
る。町会・自治会が認められる存在になるためには、色々な方が色々なことを発言し
ても、おおらかに受け取って、協力していくという姿勢にならないといけないという
話だと思う。

- ・この二点が本日の話の中で出てきたことであるが、その中で、こうしたことがスム
ーズにできていないのが課題であるように思う。地域の団体が色々な活動を行ってくれ
て、その活動を町会に持ち込み、かつ、団体が主体的に活動をしてくれれば、町会と
しても負担が減るというメリットがある。また、団体側も自分たちだけでは、なか
なかできない広報などを、町会の協力で行ってもらったり、町会の後ろ盾を得ること
により、みんなに参加してもらいやすくなったりしてメリットがある。お互いの団
体にメリットがある筈なのに何故か上手くいっていない実情がある。その辺りの課
題を解決していかないと地域の活性化につながらないのではないかと思う。
- ・この点で意見はあるか。

G委員

- ・個々の町会長さんだけに話を持ちかけるのではなく、町会連合会を通じて依頼・要
望を出していくことが必要だと思う。活動自体は団体で行うのでお知らせだけをお願い
したいという話をするとはできると思う。手間は掛かるが、町会連合会を通すこと
で一定の組織の理解を得た形で活動できることにもなる。
- ・私の地区では、地区祭の実行委員長は毎年違う町会で担当する順番制にしている。順
番にすることで、各町会の自主性にもつながる。他の地区でもそのようになれば良い
と思う。

座長

- ・各委員の意見を聞きたいが、残り時間が少なくなってきたので、私の考えを申し上げ
る。
- ・おそらく町会・自治会と他の活動団体の双方にメリットはあると思うがなかなか結び
ついていかない状態なのだと思う。結びつかないことには、様々な背景や理由がある
と思うが、試みとして何ができるかを懇談会として考える必要がある。
- ・一つ私の考えを言うと、町会・自治会と他の活動団体をつなぐ役割の人が必要である
ということ。行政の職員なのか、行政から委託を受けてコーディネートするような人
が良いのかは、検討の余地があると思うが、助言をしたり、調整をしたりするよう
な何か別の立場の人を作ることも工夫の一つとして、あっても良いのではないかと思う。
- ・地域にいる人材にそのような役割を担ってもらうことが良いのか、地域ごとに区が担
当職員を置くということが良いのか、区の職員ではないが一種の専門家を行政が配
置することが良いのか、施設の拠点に常駐する形が良いのかなど、そのあり方は様々
あると思うが、何か中立的な立場で調整役となる人がいないと難しい現状があるよう

思う。

- ・ 次回は、活動団体同士の連携について議論することになっている。もちろん町会・自治会との連携も含めての話になると思うので、コーディネート機能についても意見交換できれば良いと思う。

〇委員

- ・ 座長のご意見のとおり、行政と地域を結びつける人、地域で人と団体や団体と団体を結びつける人が一番大事なことだと思う。プログラムのなかで地域活動家育成講座のようなものを設け、人材育成を進めて欲しいと思う。

座長

- ・ 次回は、町会・自治会も含めた諸団体をどのように結びつけていくかというテーマである。その際、コーディネーターがどのような人だったら良いか、どのような仕組みなら可能なか等を含めてご意見いただきたい。
- ・ また、余談ではあるが、先ほどP委員から、自分のところはマンションの管理組合であるため、町会連合会や支部にも入れない旨の発言があった。マンションの管理組合として、加入ができるのではないか。

事務局

- ・ マンションの管理組合でも、町会連合会に加入できる。また、支部会にも参加は可能である。

4 その他

事務局

- ・ 次回の第5回懇談会は9月1日の木曜日を予定している。時間や会場は本日と同じであるが、改めて通知をする。
- ・ 第6回の懇談会日程について。本日ご出席の委員の方々は、10月6日(木)で都合が良いということを確認した。本日欠席の委員の方のご都合を確認し、都合が悪ければ再度調整をする。

座長

- ・ 次回の第5回懇談会は、各団体同士の連携によりどのように取っていくか、どのような形が活性化と言えるのかを、コーディネーターの話なども含めて意見交換をしたい。
- ・ その後、第6回懇談会では、第5回の進み具合によるが、第5回までに出てきた論点について、私と事務局で整理をし、第6回懇談会でプログラムの項目だけでも提案していきたい。これと合わせて地域活動に参加していない区民をどのように考えていくかを確認していただくことになると思う。その時点で、ある程度内容について了解を得られるなら懇談会は終了し、取りまとめに入ることになる。ただ、論点が残るようであればもう一回開催する方向で調整したい。
- ・ 以上で第4回懇談会は終了する。